

# 宇治市教育委員会定例会会議録

日 時 平成29年12月21日(木) 午後5時30分 開議

場 所 宇治市役所 602会議室

## 会 議 日 程

日程第1 会議録署名委員の指名について

日程第2 会期について

日程第3 報告

会議に付した事項 会議日程に同じ

出席者

(教育委員)

教 育 長	岸 本 文 子
教育長職務代理者	加 賀 爪 毅
委 員	金 丸 公 一
委 員	中 筋 斉 子

(出席職員職氏名)

部 長 兼 副 部 長	伊 賀 和 彦	参 事(生涯学習課長兼生涯学習センター所長)	藤 原 千 鶴
教育支援センター長	瀬 野 克 幸	教 育 総 務 課 長	縄 手 弘
学 校 教 育 課 長	富 治 林 順 哉	生涯学習課副課長	前 田 暢

(書記職員職氏名)

教育総務課企画庶務係長	加 藤 冬 子	教 育 総 務 課 主 事	奥 田 峻 也
-------------	---------	---------------	---------

開 会 (午後5時30分)

教育長より、本日の会議に傍聴の申請があり、許可した旨の報告がある。

開会宣言 教育長が12月教育委員会定例会議の開会を宣言する。

日程第1 会議録署名委員の指名について

教育長から宇治市教育委員会会議規則第13条第3項の規定により、中筋委員を指名する。

## 日程第2 会期について

教育長から1日限りとする旨の提案があり、全会一致で決定する。

## 日程第3 報告

- (1) 平成29年12月市議会定例会について
- (2) 文教福祉常任委員会について(平成29年12月18日)
- (3) 文教福祉常任委員会について(平成29年12月20日)
- (4) 平成30年度宇治市立笠取小学校特認入学募集結果について
- (5) 平成30年(2018年)宇治市成人式について
- (6) 平成29年度 児童・生徒数推計について
- (7) 「要望書」等について
- (8) 宇治市教育委員会後援事業について

以上8件を報告する。

---

### [説明]

#### (1) 平成29年12月市議会定例会について

[一般質問] 12月11日・12日・13日・14日 質問議員...18名

(うち教育委員会関係11名)

一般質問前の12月6日に幼稚園の廃園にかかる学校施設の条例改正について3名の議員から質疑を受けた。

大河議員からは、大久保幼稚園守る会から署名が提出されたが、どのように受け止めているのか、この間の保護者ニーズはどういったものだったのか、何を実現していくのか、パブリックコメント等は実施しないのかという質問を受けた。

山崎匡議員からは、なぜ4園で3年保育や預かり保育の実施ができないのか、3園についても適正規模・適正配置の検討をするのか、昨年の検討委員会の設置はどこが行い、どういう委員で、誰が案を出したのかという質問を受けた。

水谷議員からは、パブリックコメントを実施しないという説明はないのか、市立幼稚園の園児数と特別支援を要する園児数等の人数・比率、私立幼稚園についても同様に人数・比率を問われた。また、私立幼稚園における特別支援教育の体制や市内の3歳児保育や預かり保育の実施状況の質問があった。

次に一般質問の説明を行う。

大河 直幸 議員

- 中学校給食について
  - ・検討の状況について
  - ・今後の検討のあり方について
  - ・中学校給食の実施について

木本 裕章 議員

- 教育課題について
  - ・教育課題について
  - ・Society5.0 への対応について
  - ・中学校進学時における課題と対応について

池田 輝彦 議員

- 教育課題について
  - ・就学援助について

鳥居 進 議員

- 教育課題について
  - ・教職員の働き方改革について

真田 敦史 議員

- 市長の政治姿勢について
  - ・公共施設等総合管理計画について
- 子育て・教育について
  - ・教育課題について

中村 麻伊子 議員

- 公教育のあり方
  - ・学校の施設整備について
  - ・子どもの貧困対策について
  - ・課題を抱える子どもの支援について
  - ・就学前教育について

山崎 匡 議員

- 学校図書館について
  - ・「ことばの力」研究事業について
  - ・学校図書館の充実について
  - ・市長マニフェスト 市立中学校全校の学校司書配置について
- 六地藏周辺のまちづくりについて

- ・イトーヨーカドーの跡地について

荻野 豊久 議員

- 愛犬・愛猫との共生社会の実現にむけて
- ・ドッグランについて

坂本 優子 議員

- 今後の公立幼稚園のあり方について
- ・公立幼稚園の役割について
- ・なぜ「神明」「木幡」で預かり保育、「東宇治」で3年保育の試行を決めたのか
- ・就学前の特別支援教育について
- 京都アイスアリーナの整備について
- ・事業計画の概要について

堀 明人 議員

- リマインド
- ・笠取第二小通学路（府道二尾・木幡線）の安全対策
- 市長の政治姿勢
- ・山間地域の今後について
- ・公立幼稚園のあり方

宮本 繁夫 議員

- こどもの貧困対策について
- ・こどもの貧困対策について
- ・入学準備金の入学前の支給について
- 今後の公民館について
- ・宇治公民館の今後について

## (2) 文教福祉常任委員会について(平成29年12月18日)

請願第29-3号 誰もが安心して子どもを産み・育てられるよう宇治市の保育の充実を求める請願

議案第88号 宇治市総合野外活動センター条例の一部を改正する条例を制定するについて

議案第89号 宇治市巨椋ふれあい運動ひろば条例の一部を改正する条例を制定するについて

報告第37号 宇治市教育委員会の所管する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の報告について

### **(3) 文教福祉常任委員会について(平成29年12月20日)**

議案第87号 宇治市立学校設置に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて

宇治公民館の閉館について

### **(4) 平成30年度宇治市立笠取小学校特認入学募集結果について**

募集期間は、平成29年10月3日(火)から平成29年11月22日(水)までである。

学校見学会については、募集の初日、10月3日に授業参観、学校見学、学校説明会を実施した。

学校見学会参加者は8名で、「通学区域外就学許可願」を学校に提出し学校面接を受けた入学希望者は5名であった。なお、この5名のうち1名は特認在校生の弟妹枠により優先入学することとしている。

今回の募集人数については、特認在校生の弟妹枠を除き4名としたので、公開抽選は実施せず、4名の入学予定を決定した。

この結果、平成30年度宇治市立笠取小学校在校生予定は、地元が3名、特認が16名、総数19名になる見込みである。

### **(5) 平成30年(2018年)宇治市成人式について**

成人式は、平成30年1月8日(月) 成人の日に宇治市文化センター大ホールで開催する。今年度の対象者は男1,045人、女966人、計2,011人である。主催は、宇治市・宇治市教育委員会・宇治市成人式実行委員会である。

実行委員会は、市内在住の新成人から公募した男性4名、女性1名、計5名で構成しており、式典での新成人代表挨拶は、実行委員長が行う。

式典第2部の特別企画の内容は、実行委員により企画・会議を重ね、より充実したものになるよう励んでいる。今年度は、同志社大学の軽音楽部にジャズの演奏を依頼している。また、実行委員が各校を回り中学校の恩師からのメッセージを撮影・編集したビデオレターの上映や、例年人気の高い抽選会を実施する。

なお、今年度からパンフレットの事前配布はなく、当日プログラムを配布する形に変更する。

また、成人式当日、午前11時現在で各種気象警報が発表された場合、成人式は中止となる。

### **(6) 平成29年度 児童・生徒数推計について**

本推計は、平成29年5月1日時点の児童生徒数及び0歳から5歳の乳幼児の人口を基に、現在の0歳児が小学校1年生になる平成35年度までの児童生徒数を推計したものである。なお、推計中の学級数については、小学校1年生と2年生は1学級35人以下、3年生以上の学年は1学級40人以下で推計している。また、教室数については、5月1日

時点の教室数を記載している。

推計表（総括）は、平成35年度までの学校別の学級数と児童生徒数である。「小学校児童数推計表（総括）」については、左側から、学校名、平成29年5月1日現在の数値、平成30年から平成35年までの推計となっている。平成29年5月1日現在の列に「実C」、「C」、「児童数」と並んでいるが、真ん中の「C」の欄は小学校1年生と2年生を1学級35人で、3年生以上を40人で学級を編成した時の理論値である。それに対して「実C」の欄は、少人数学級を編成したものも含む、今年度の実際の学級数を掲載している。なお、特別支援学級については、学級数、児童・生徒数ともに各校の下段に括弧書きで掲載しており、その数は全体の内数となっている。また、この特別支援学級の児童・生徒数は、小学校では今年度の数値をそのまま推移し、中学校では小学校の在籍人数を反映させたものである。「中学校生徒数推計表（総括）」についても、小学校と同じ構成となっている。

各学校の学年別の推計表では、5人以内の人数変動で学級数が増減する学年欄に白丸と黒丸を記している。白丸は5人以内の児童数減で学級数が減少すること、黒丸は5人以内の児童数増で学級数が増加することを表している。

今後、平成35年までの推計で増加傾向を示しているのは、小学校では、西小倉小学校、西大久保小学校、中学校では、南宇治中学校、木幡中学校である。しかし、小学生は平成30年度には1万人を下回る見込みで、中学生は昨年度から5千人を下回っており、全体的には少子化の傾向が続くものと考えている。

#### （7）「要望書」等について

宇治市手をつなぐ親の会より「特別に支援を必要とする子どもたちが、地域や学校で安心して暮らしていけますよう、保護者より3点にまとめた要望書」、大久保区より「大久保幼稚園廃園問題 市民を無視した一方的なやり方に抗議する要望書」、宇治市立木幡小学校PTAより「通学路における安全確保に関する要望書」の提出があった。

#### （8）宇治市教育委員会後援事業について

公益財団法人宇治市文化センター主催の京都府警察音楽隊「宇治に輝け！プレミアムコンサート」ほか7件、計8件の事業について後援した。

**閉会宣言** 教育長が12月教育委員会定例会の閉会を宣言する。

閉 会 （午後6時00分）